

コンチネンタル リソースズ (CLR)

【セクター】 エネルギー

【市場】 NYSE

【企業概要】

原油や天然ガスの探鉱、開発、管理、生産を行う独立系エネルギー会社です。オクラホマシティを拠点としてノースダコタ州とモンタナ州にまたがるバッケンにおいて最大の生産者です。このほか、ワイオミング州やテキサス州等でも事業展開しています。2021年12月期の原油・天然ガス生産のうち米北部（バッケン等）が55%、南部（オクラホマ等）が45%を占めます。確認埋蔵量は1645MMBoe（石油換算百万バレル）で、うち北部が46%、南部が54%を占めます。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

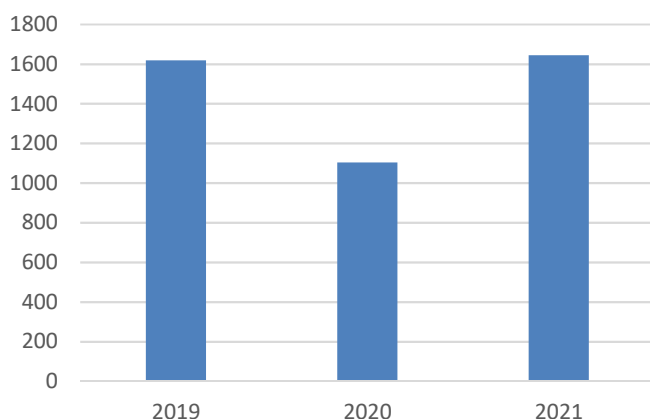
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
20.12期	2,586	-424	-1.17	0.05	16.6	-9.3	43.9
21.12期	5,719	1,681	4.62	0.46	20.5	24.5	42.3
22.12期（予）	9,516	3,832	10.99	1.02	30.9	37.4	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

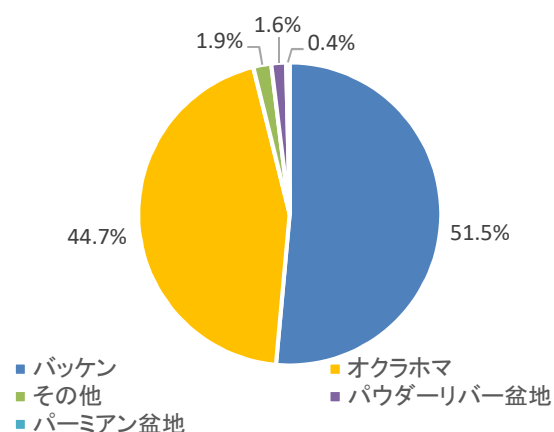
【主要指標】

確認埋蔵量（石油換算百万バレル、各期末）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

一日当たり平均生産比率（石油換算、2021年12月期）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

原油・ガス資産取得を積極的に模索しており、2021年にはパイオニア ナチュラル リソースズからテキサス州パーミアン盆地の原油・天然ガス資産を取得しています。今後、買収効果による業績拡大が注目されます。ビジネス上の戦略としては株主価値向上に注力しています。なお、当社の創業者で大株主でもあるハロルド・ハム氏は「エネルギー王」と呼ばれています。

【見通し・注目点】

2022年1-3月期決算は調整後EPSが前年同期比3.4倍となり市場予想を上回りました。一日当たり平均生産（石油換算）は同21%増となりました。パーミアン盆地が全体を押し上げたほか、バッケンは同7%増、パウダーリバー盆地が同4.7倍と寄与しました。営業キャッシュフローは同45%増となり、事業環境は良好と言えます。会社側は2022年の原油及び天然ガス生産見通しを引き上げており、エネルギー高が継続すれば業績拡大につながる可能性があります。また、自社株買い枠として9.6億ドルが残っているほか、株価のバリュエーションは予想PER（2022年12月期）で約5倍の水準ですので、株価には割安感があると思われます。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。